管外行政視察研修報告

産業建設常任委員会（7月15日～17日）

1、福島県金山町

マルチワーク「奥会津かねやま福業協同組合」を設立し、国の制度を活用して人手不足解消と移住・定着を両立させている。派遣労働者の待遇改善により優秀な人材を確保し、定着率は85％に達する。繁忙期の調整などの課題はあるが、担い手確保や関係人口創出の手段として非常に有効な取り組みである。

2、新潟県十日町市

合併に伴い生じた空き校舎を、地域資源や住民・企業の連携により利活用している。女子サッカーチーム「FC越後妻有（つまり）」の選手が移住し、棚田保全と地域活性化を担う事例や、「大地の芸術祭」を通じアートによる地域活性化など、地域資源を価値に換える地方創生のモデルを確立している。

まとめ

両市町の取り組みは、地域の課題や資源を前向きに捉え直し、人材確保や地域活性化につなげている。当町の人口減少対策や未利用施設の利活用、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえで、大変示唆に富む研修となった。



廃校利活用を学ぶ（十日町市）

総務厚生常任委員会（7月28日～30日）

1、新潟県聖籠町

豊かな工業地帯の税収による強固な財政基盤を持ち、安価な地価と近隣市への通勤通学の利便性から子育て世代の移住が進んでいる。行政と地域団体が一体となった「聖籠いきいきプロジェクト」を展開し、平成8年度からの「子育て支援金」など先駆的な少子化対策を行い、「暮らしやすさ」が評価されている。

2、福井県池田町

人口約2千人の規模を生かし、自然と地域連携を取り入れた「池田町らしさ」を追求した施策を実施し「いけだ暮（くら）しLASSEL（っせる）」による移住相談・仕事・住まいのワンストップ支援や地区長との事前面談など手厚い定住サポートを徹底する。町全体で支える「ママ・ファースト運動」や、直売施設（まちの駅）を活用した6次産業化も盛んである。

まとめ

聖籠町の町民目線に立った組織横断的な施策検証と長年の子育て支援、池田町の地域住民と連携した丁寧な定住促進と独自の地域活性化は、今後の当町のまちづくりや議会活動を行う上で非常に参考となった。



移住施策を学ぶ（池田町）

広報特別委員会 町村議会全国広報研修（東京都 8月28日）

全国から広報担当議員が集まり、事例を基に広報紙のリニューアルの狙いと効果、直感的に魅せる紙面づくりの視覚的効果の比較例を聴講した。

また、山形県川西町議会が編集・作成方法の実践事例として発表した。県内各地からも多数の議員が出席し全国コンクール16年連続入賞、3度の最優秀賞を得た先駆的事例に刺激を受けるなど、有意義な研修となった。



編集後記

▼今年は全国各地で地震や台風、記録的な豪雨などが頻発し、大きな被害を受けました。一日でも早く復興・復旧が進むことを願うとともに、被害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

当町でも7月に豪雨災害が発生しました。今定例会で災害復旧費用を可決しましたので、本格的に工事に取り掛かることを期待します。

▼今年はクマなどによる農作物被害が少なくなっています。昨年に多額の費用をかけて対策した結果の現れかと推察しますが、実りの秋を迎え、更なる警戒を続けましょう。

（佐々木）

広報委員
委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷・㈲梅津印刷

次の定例会は12月です

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男　編集 議会広報特別委員会
〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地　電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp　HP http://www.town.shirataka.lg.jp/1053.htm